

尾三衛生組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書についての部会報告骨子案

部会報告骨子案	参 考
はじめに	
意見骨子 - 事業者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえた環境保全措置を検討し、環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。 - また、環境保全措置の検討に当たっては、環境影響の回避又は低減を優先すること。	○過去の知事意見 - 事業者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえた環境保全措置を検討し、環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。 - また、環境保全措置の検討に当たっては、環境影響の回避又は低減を優先すること。

1 全般的事項	
意見骨子 - 事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。 - 新たなごみ処理施設の処理方式については、今後検討して決定するとしているが、決定に係る比較検討の経緯及び内容を分かりやすく示すこと。 なお、準備書作成までに処理方式が決定していない場合には、処理方式ごとに排出ガス等の諸元を適切に設定の上、予測及び評価を行うこと。 - 調査手法、予測手法及び評価手法並びにその設定理由について、具体的かつ分かりやすく示すこと。 - 環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、環境影響評価の項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。	○委員意見 - 予測の基本的な手法や評価の手法について、どのように理解すればよいのか。例えば、動物の予測の基本的な手法については、「重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を踏まえた定性的予測」と記載されているが、もう少し具体的に教えていただきたい。 - 昆虫の調査方法について、もう少し細かく説明していただきたい。 ○過去の知事意見 - 事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。 - 新たなごみ処理施設の処理方式については、今後検討して決定するとしているが、決定に係る比較検討の経緯及び内容をわかりやすく示すこと。 なお、準備書作成までに処理方式が決定していない場合には、処理方式ごとに排出ガス等の諸元を適切に設定の上、予測及び評価を行うこと。 - 調査地点及び予測地点について、その設定理由をわかりやすく示すこと。 - 環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、環境影響評価の項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

2 大気質、騒音、振動

意見骨子

対象事業実施区域の近隣に住居が存在することから、大気質、騒音及び振動による生活環境への影響が懸念される。

このため、ばい煙の排出による大気質への影響並びに建設機械の稼働等及び資材等運搬車両・廃棄物運搬車両等の走行による大気質、騒音及び振動への影響について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

また、車両の運行計画の策定に当たっては、効率的な運行による車両台数の抑制や平準化・分散化、低公害型の車両の積極的な使用などにより生活環境に配慮すること。

○みよし市長意見

- ・（大気質）準備書以降の手続きにおいて、現地調査で得られた実測データ及び計画施設の計画諸元に基づいた精度の高い予測や評価を行うとともに、本市側の住宅地等への影響について特段の配慮をされたい。
- ・ 建設・供用交通に伴う騒音・大気・安全へのリスクを最小化するため、安全対策、動線計画、施工方法や時間帯の配慮等を求める。

○過去の知事意見

- ・ 対象事業実施区域及びその周辺には、住居や学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設が存在していることから、大気質、騒音及び振動（以下「大気質等」という。）による生活環境への影響が懸念される。

このため、建設機械の稼働及び自動車の走行等による大気質等への影響について、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえた環境保全措置を検討し、環境影響を回避、低減すること。

- ・ 工事関係車両及び施設関係車両の主要な交通ルートの周辺には住宅等が存在することから、大気質、騒音及び振動による生活環境への影響が懸念される。

このため、車両の運行計画の策定に当たっては、効率的な運行による車両台数の抑制や平準化・分散化、低公害型の車両の積極的な使用などにより生活環境に配慮すること。

また、車両の走行による大気質等への影響について、事業実施に伴う交通量を適切に設定して予測及び評価を行うこと。

3 水質

意見骨子

工事の実施に伴う水質への影響について、定量的手法により予測を行うこと。

○委員意見

- ・ pH 変化も SS も、比較的簡単に精度高く定量的に予測できる項目であるため、定性評価ではなく、定量評価にしていきたい。

○過去の知事意見

- ・ 地下水の水位、水資源及び地盤については、地質・水文学的シミュレーション等による定量的手法により予測を行うこと。

4 動物、植物、生態系	
意見骨子 - 動物又は植物の現地調査について、調査区域内の環境に応じ、適切に実施すること。 - 対象事業実施区域及びその周辺において、夜行性の鳥類が生息している可能性があることから、適切に調査、予測及び評価を行うこと。 - 対象事業実施区域及びその周辺において、オオタカが営巣している可能性があることから、専門家等の指導・助言を得ながら、適切に調査、予測及び評価を行うこと。 また、オオタカの繁殖に影響を与える可能性が高い時期に現地調査を行う場合には、できる限り影響が小さい手法により調査を行うこと。	○委員意見 - 昆虫の調査方法について、もう少し細かく説明していただきたい。 - 昆虫の調査方法について、ターゲットによって調査手法が変わってくると思う。地表徘徊性であれば、必ずしもベイトはいらないと思う。少し湿った地面のところなどは、この地域もヒメタイコウチが住んでいる可能性があると思うので、ベイトトラップやライトトラップというよりは単純にピットフォールのトラップを仕掛けてみると良いと思う。 - 文献調査で夜行性の鳥類の重要種が確認されているが、夜行性の鳥類が把握できるような手法が方法書に記載されていない。夜行性の鳥類の調査の実施についてご検討いただきたい。 ○過去の知事意見 - 対象事業実施区域周辺において、フクロウが営巣している可能性があることから、夜間調査を実施すること。 - 対象事業実施区域周辺において、オオタカが営巣している可能性があることから、オオタカの繁殖に影響を与える可能性が高い時期に動植物の現地調査を行う場合には、できる限り影響が小さい手法により調査を行うこと。 - 対象事業実施区域及びその周辺には、渡り鳥や夜行性の鳥類が生息する可能性があることから、専門家等の指導・助言を得ながら、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえた環境保全措置を検討し、環境影響を回避、低減すること。

5 景観	
意見骨子 計画施設及び煙突の存在による景観への影響について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。 なお、建屋等の形状、色彩等の検討に当たっては、周辺景観と調和したものとなるように努めること。	○みよし市長意見 ・ 準備書以降の手続きにおいて、本市側の周辺の自然環境及び居住環境に配慮し、煙突の形状・色彩・照明等の計画について適切な調査・予測・評価を行うよう配慮されたい。
6 その他	
意見骨子 準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、分かりやすい図書となるよう努めること。	○豊田市長意見 ・ 準備書の作成に当たっては、わかりやすい図書となるよう努めてください。 ○みよし市長意見 ・ 事業実施区域の周辺住民に対して、適切な機会をとらえて丁寧な説明を行うとともに、わかりやすい説明資料の公開を通じ、地域の不安を解消する必要がある。 ○過去の知事意見 ・ 準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、分かりやすい図書となるよう努めること。